

さいたま市長 11月定例記者会見

平成27年11月20日（金曜日）

午後1時30分開会

- 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
記者クラブ幹事社の時事通信さん、進行をよろしく願いいたします。
- 時事通信 11月の幹事社を務めます時事通信社と申します。よろしく願いいたします。
それでは、本日の記者会見内容につきまして市長から説明をお願いいたします。
- 市 長 皆さん、こんにちは。
15日の日曜日、埼玉県内では初の国際フルマラソン、第1回さいたま国際マラソンを開催いたしました。当日は小雨交じりの中でのスタートでしたが、コース沿道の市民の声援が雨雲にも届いたのか、天候も回復して、フィニッシュ地点では大歓声とともに太陽も参加者たちを出迎えてくれました。
大きな大混乱などもなく大会を成功させることができましたのは、ご関係の皆様を初め地域の皆様のご理解とご協力、そして数多くのボランティアの皆様のご協力あつてのものであり、心から感謝を申し上げたいと思います。
また、「サッカーのまち さいたま」としてはうれしいことに、サッカーJ2リーグにおきまして大宮アルディージャが優勝を決めました。この勢いに乗って浦和レッズにもJ1優勝を勝ち取っていただくため、皆さんと一緒に熱い声援を送っていきたいと思います。よろしく願いいたします。
それでは、本日の議題に移らせていただきます。

市長発表：議題1「さいたま市議会12月（11月繰上げ）定例会の提出議案について」

本日の議題は、まず議題1としまして、平成27年さいたま市議会12月定例議会の提出議案についてご説明をさせていただきます。

平成27年さいたま市議会12月定例会を11月25日に開会いたしま

す。提出議案数は全部で61件、内訳といたしましては予算議案13件、条例議案が17件、一般議案が25件、道路議案が2件、そして人事議案が4件であります。

次に、予算議案から説明をさせていただきます。

予算議案は、一般会計、国民健康保険事業特別会計補正予算等、特別会計、それから病院事業会計補正予算等の企業会計、合わせて13件でございます。

まず、一般会計については、補正額としては63億1,495万5,000円、また特別会計は合わせまして1億1,488万6,000円、企業会計は合わせて2億6,065万4,000円、補正額合計としましては66億9,049万5,000円になります。

補正の中身についてご説明をさせていただきます。

1つ目は、子育て支援施策の充実でありまして、その(1)としまして、多子世帯の経済的負担を軽減するため、保育料の一部または全部を支援する補正予算として、幼稚園就園奨励事業のほか3事業、4事業合計で保育料の負担軽減額としまして2億4,050万1,000円になります。また、認可保育所等は埼玉県補助制度を活用いたしますが、本市の独自策として認可外保育施設や幼稚園まで対象を広げるものであります。

次に、(2)としまして、国の定める公定価格の適用に伴いまして、民間保育所等に対する運営費を増額する、特定教育・保育施設等運営事業の一部、25億3,435万9,000円になります。

そして、3番目としましては、保育士人材確保策の一環としまして、事業者が保育士のための宿舎を賃借する費用の一部を補助するというものでありまして、600万円でございます。

次に、2つ目、教育の充実についてでございます。

この(1)としまして、児童数の増加に伴い、必要となります(教室)を確保するために、校舎の増築や新築に向けた設計を行うというものであります。小学校校舎増改築事業として4,603万3,000円、また小学校新設校建設費用として3,078万1,000円及び継続費の設定としまして総額1億5,616万7,000円でございます。

また、中学校新設建設事業としまして3,150万5,000円及び継

続費の設定といたしまして総額1億6,340万7,000円を計上させていただきます。これは、児童数の増加に伴いまして、仲町小学校において校舎を増築するための設計費用と、美園地区に小学校と中学校をそれぞれ新設するための設計等を行うものになっております。

また、(2)といたしまして、館岩少年自然の家の(新館)増築工事を実施する費用でございまして、少年自然の家管理運営事業として743万9,000円及び継続費の設定としまして31億6,399万3,000円を計上するものでございます。

次に、その他といたしまして、その(1)番目は平成28年度に開催予定の2016さいたまクリテリウムに向けて準備に着手をいたします国際自転車競技大会開催事業として500万円及び債務負担行為の設定として限度額2億9,500万円を計上させていただくものでございます。

そして、(2)としましては、大宮区役所新庁舎整備を早急に進めていくため、埼玉県との土地交換を行うとともに、交換後の土地を適正に管理を行う大宮区(役所)新庁舎整備事業として13億4,742万6,000円及び債務負担行為の設定として限度額446万1,000円を計上するものでございます。

次に、主な条例議案についてご説明をさせていただきます。

1つ目は、住民の利便性の向上及び本市における事務の効率化を図るためマイナンバーを利用できる市の独自事務及び利用する特定個人情報などを定める等、新たに条例を制定するものであります。独自利用の事務として、さいたま市として掲げておりますのが、国民健康保険被保険者を対象とする人間ドックに関する事務、そして2つ目としては、外国人に対する生活保護措置に関する事務、3つ目としては、小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付等に関する事務、そして4つ目として心身障害者福祉手当に対する事務、5つ目として補装具自己負担額助成に関する事務、6つ目としてひとり親家庭の医療費等の助成に関する事務を挙げさせていただいております。

そして2番目としましては、消費者安全法の改正によりまして、消費生活相談体制を強化するため、消費生活センターの組織及び運営並びに情報の安全管理に対する事項を定める等、新たに条例を制定するものであります。

す。

最後に、主な一般議案についてご説明をさせていただきます。

1つ目は、本庁舎耐震補強工事に伴う執務室の移転のため、(仮称)仮配置棟を建設するための工事請負契約を締結するに当たり、議決を求めるものであります。

2つ目は、(2)としましては、さいたま市立高等看護学院の建設工事請負契約についてでございますが、施設の老朽化及び学生の定員増に対応するため、高等看護学院を建てかえするための工事請負契約を締結するに当たり、議決を求めるものであります。

そして、この3から5につきましては、(仮称)子ども総合センターを建設するための工事請負契約を締結するための議決をいただくものでございます。

市長発表：議題2「浦和美園駅東口駅前の複合公共施設の開設について」

続きまして、議題の2でございます。浦和美園駅東口駅前の複合公共施設の開設について説明をさせていただきます。

まず、概要及び案内図でございますけれども、開設年月日は平成28年1月4日月曜日から開設をさせていただきます。所在地はさいたま市緑区大字下野田655番地、埼玉高速鉄道浦和美園駅東口駅前に開設いたします。さいたま市の副都心として位置づけのある緑区美園地区及び隣接する岩槻区の和土地区、新和地区の将来像を踏まえ、地域住民の利便性の向上や定住促進を図るため、コンセプト、導入機能を提供するサービス等の検討を行って建てたものでございます。

導入施設といたしましては、地域住民のコミュニティの活動の拠点として、1、2階に新たに美園コミュニティセンターを配置いたします。運動や講演等に幅広く利用できる多目的ホール、それから音楽室、レクリエーションルーム、あるいは集会室などがございます。

次に、さいたま市南東部地域の住民の利便性の向上を図るため、1階に美園支所を現在の緑区の大門から移転いたします。また、2階には地域住民の生涯学習の場として新たに美園図書館を設置いたします。図書約6万

冊のほか、CD、雑誌、新聞を収蔵し、インターネットを利用できるコーナーもございます。小説、実用書、児童書などを取りそろえた家族で利用できる身近な図書館となっております。

次に、美園教育相談室・適応指導教室「かけはし」を設置いたします。これは、さいたま市南東部地域の子育て支援機能として設置をするものでありまして、児童生徒、保護者の学校生活にかかわる不安や悩み、就学前の幼児の言葉の相談などを専門の相談員が面接相談、電話相談でお受けするものです。また、学校へ登校することが困難な児童生徒に対しまして支援、また指導を行ってまいります。

またあわせて、拠点備蓄倉庫を設置いたします。これは、災害発生時に各指定避難所等に不足する物資を補給する目的で、平時から災害用物資を備蓄しておくことを目的に設置をされるものであります。

そのほか、屋外のピロティ。これは、通常時は地場農産物直売等に利用できるイベントスペースとなっております。災害時は、炊き出しやマンホールトイレの設置が可能となる場所となります。

落成式につきましては、平成27年12月26日土曜日10時からを予定しております。会場は、美園コミュニティセンター多目的ホールで開催いたします。

また、一般の方々を対象にしまして、同じ日の13時から15時まで、また27日は10時から15時まで内覧会を開催する予定となっておりますので、ぜひお越しいただきたいと思っております。

私からの報告は以上でございます。

○ 時事通信

どうもありがとうございました。

市長からの説明について質問のほうをお願いします。

議題に関する質問

○ 毎日新聞

毎日新聞と申します。1点確認させていただきます。

2の教育の充実の中で、小学校2件と中学校1件がありますが、児童数の増加に伴いということですがけれども、慢性的な状態として教室不足だとか学校不足があると思うんですがけれども、これは今後も取り組んでいく課題という考えですか。

- 市長 そうですね。仲町小学校の周辺にも高層マンション等が建っておりまして、今後の動向などを試算しまして配置をする、増築をするということに決定いたしました。また、美園地域も現状で美園小学校はもう既にいっぱい状況でございます、早期に整備をしないと教室が足りなくなるという状況も踏まえまして、将来的にも必要になるということで、設置をさせていただくということでございます。
- 毎日新聞 今の中で将来的にもということがありましたけれども、今回補正でついていますが、来年度以降さらに学校をとということも考えていらっしゃいますか。
- 市長 もともとこの美園の区画整理事業の中で当初から今回つくります小学校と中学校は計画上予定されていたものでございますけれども、美園小学校がかなりいっぱい状態でございます、今後のことを考えると足りなくなる可能性があるということで、予定よりも少し早目に対応していこうということで、やらせていただいています。
- 毎日新聞 今後さらに小学校を増設していくというような考えは。
- 市長 現状としてはまだそこまでございますけれども、今後また状況を見てということになります。長い将来で言えば、人口減少、あるいは子どもの減少も十分考えられますので、その辺は十分に精査をしながら今後のことについては対応していきたいと思っておりますが、現状としては、さいたま市は20代、30代の社会増が多い部分がございますので、そういった中でこういった状況が今生まれているということでございます。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
- 主な補正予算の事業で、子育て支援の関係で幼稚園の就園奨励事業ですとか、公立保育所の管理運営事業ですとか、4つの主な事業に補正予算をつけたということですが、このタイミングでこういった支援策を行う理由というのを教えてください。
- 市長 現在策定中の総合戦略等も踏まえまして、子供を産み育てやすい環境づくりを十分していくということがさいたま市にとっても大変重要な施策であると考えておりまして、その中で特に多子世帯に対応して県のほうでも事業を行っていただくわけでありましてけれども、さいたま市の場合、幼稚園に通われている方々も非常に多いということもありますし、また認可外

の保育所を運営されている皆さんにご協力をいただいているという部分もございますので、こういった形、こういった形態であっても、多子世帯に対して、より子育てしやすい環境をつくっていくということが1つと、またあわせて、こういった保育所整備をするに当たって、どうしても保育士の確保が大変大きな課題でもございますので、ハード的な面だけではなくて、保育士の確保、そして充実ということに対応していくための対策ということで今回補正予算を出させていただきました。

- 埼玉新聞 1点。2歳児までですかね、主に。3人目以降、第3子以降は原則的に保育所とか幼稚園などに通う費用が無料になるということですが、ただ認可外ですと上限1万円で補助されるということで、その額より実際の通所料というか保育料が高い場合は自己負担がまだあるということになると思います。さいたま市で、やはり認可外の保育所に通っているお子さんもまだまだ多いと思うので、この辺の充実策も必要かと思うんですが、この点についてはいかがお考えでしょうか。
- 市 長 今回もまさにそのための施策の一つであると認識をしておりますが、また今後の状況をしっかり見きわめながら対応していきたいと思います。
- 埼玉新聞 そうしますと、認可外の方も多子世帯のお子さんが無料になるような施策も今後やっぱり考えていくということになりますか。
- 市 長 状況をよく踏まえながら考えていきたいと思っております。まだ現状としてそういったことができるかどうかというのは、少し課題ということになるかと思えます。
- 埼玉新聞 そうしますと、まだまだ、今回充実させるということですが、これで十分だとはお考えになっていないということですか。
- 市 長 そうですね。これまで多子世帯も、要するに未就学の前で3人以上いなければいけないとか、かなり現実的にはなかなかサポートをしていただきにくい制度であったりもしておりましたので、なるべく受けやすい環境づくりをしたということが1つと、県のほうでやっていただいて、その補助を私たちが受けてやる部分、プラスアルファでもう少し認可外あるいは幼稚園というところについても、同じように多子世帯に対してメリット感といったものを出したいということで今回施策を行っておりますので、またその状況を鑑みながら、今後の対策については考えていきたいと思ってお

ります。

幹事社質問：「さいたま国際マラソンの感想と次回以降の大会運営に向けた考えについて」

○ 時事通信

ほかよろしいでしょうか。

それでは、幹事社として代表質問をさせていただきます。改めてということになるんですけれども、15日に開催されましたさいたま国際マラソンに関するご感想と、また次回以降の大会運営に向けた市長のお考えなどお聞かせください。

○ 市長

それでは、幹事社質問にお答えをしたいと思います。

大会当日は、朝の時点では小雨も降っておりましたが、次第に天気も回復をして、スタート、フィニッシュ地点のさいたまスーパーアリーナやけやきひろばでは、新たな夢と感動のドラマの幕あけに熱気と緊張感に包まれたような感じであったと思います。コース沿道には、市民を初めとする多くの方々が選手たちに熱い声援を送っていただき、感動と興奮を共有ができたと思っております。

また、大きな混乱などもなく、大会を無事、また成功裏に終了することができたと考えております。これも協賛各社様を初め、警察や交通事業者等の関係機関の皆様、そしてコース沿道周辺にお住まいの皆様、また事業者様等のご理解と、またご協力によるものであります。心から感謝と御礼を申し上げたいと思います。

また、大会の成功には4,000人ものボランティアの皆様のご協力があったのことに強く認識をしております。このボランティアの皆さんに対しましても重ねて感謝を申し上げたいと思います。

併催イベントとして、けやきひろばでは埼玉うまいもの市場を開催し、マラソンファンのみならず多くの方々にお越しをいただき、市内を初めとする県内のグルメや特産品を楽しんでいただくことができました。

大会コンセプトであります「未来をつくる子どもたちに夢と希望を送る大会となす」の事業として、小中高生によりさまざまな体験型イベントを開催させていただきました。国際大会を通じて、将来を支える児童生徒にとって貴重な体験や経験をしてもらうことは大変重要であり、今後も

幅広く展開をしていきたいと思えます。

コース沿道では区が主体となりまして、それぞれ趣向を凝らした沿道応援イベントを実施し、ランナーに勇気を与え、大会を大いに盛り上げていただきました。また、生中継によるテレビ放送やラジオ放送、新聞、スポーツ関連紙など多くのメディアに取り上げていただき、「スポーツのまちさいたま」を全国へ向けて広くアピールすることができたと考えております。

自ら選手として参加する、「するスポーツ」、代表選考レースを観戦をする「みるスポーツ」、また多くのボランティアの参加による「ささえるスポーツ」、そして大会に関連したイベントでの「まなぶスポーツ」を実践できるさいたま国際マラソンは、この「スポーツのまちさいたま」を象徴する大会となることを確信いたしているところであります。

来年度以降の開催に向けましては、まず今回開催による課題を洗い出し、埼玉県警や関係各社と継続した協議が必要となると考えております。その上で、制限時間の延長や参加定員、種目の拡大等を主催5者で検討して、市民の皆さんから愛着が持たれ、本市に根づいた大会となるように展開をしていきたいと考えております。

以上です。

幹事社質問に関する質問

- 時事通信 どうもありがとうございました。
私のほうから1点追加で質問させてください。観客動員数はどのぐらいだったのかということと、その数に対する市長のお気持ちというのをお聞かせください。
- 市長 観客動員数についてでございますが、大会組織委員会の発表では沿道で約36万人の方に応援をいただきました。また、けやきひろばでの埼玉うまいもの市場やステージイベントでは3日間で合計で約15万人の人出でにぎわうことができました。
私もスタート地点から、その後はテレビとかモニター等で観戦をさせていただいたりしましたけれども、想像以上に、また私も何度かさいたまシティマラソンを走らせていただいて、ランナーとして周辺の観客の状

況なども見てきましたけれども、本当にたくさんの市民の皆さんが沿道に出てください、天気も必ずしもいいというわけではありませんでしたけれども、エリートレースの代表選考レースへの応援だけでなく、市民マラソンにも大変熱い声援を送っていただいて、その後何人かから、走った方々からも随分感想を言われたのですが、大変切れ目ない応援をしていただいて、大変よかったです、うれしかったというようなご意見を言われる方がたくさんいらっしゃいましたので、たくさんの市民の皆さんに関心を持っていただき、また実際間近で見ていただいたということで、大変良いイベントだったのではないかと。

また、大変視聴率も高かったと聞いておりますけれども、テレビで観戦していただいた方もたくさんいたということも聞きましたし、関心の高いイベントになったと思っております。

○ 時事通信

どうもありがとうございました。

代表質問の説明に関して質問のある方は質問してください。

○ 埼玉新聞

埼玉新聞と申します。

さいたま国際マラソンについてお伺いいたします。先ほど市長から来年度以降について、距離といいますか、種目ですとか制限時間を見直すことを主催者の中で検討するということがあったんですけれども、完走率が男子73.6%、女子56.2%という非常に低い数字だったんですけれども、市長は具体的にその制限時間は何時間ぐらいに延ばしたほうがいいですとか、あとやっぱり私の取材の中で、幾つかハーフマラソンがなくなったのは非常に残念だという声が大きかったんですけれども、どういった種目があったら望ましいかという市長の考えをお聞かせください。

○ 市長

あくまでも個人的な見解ということでお聞きいただきたいと思いますけれども、一部の皆さんからは、4時間以内というこのレースが、ある意味では非常に頑張った人が走る、あるいは頑張った人しか走れないレースという意味で、そういうレースがあってもいいのではないかとというようなご意見を頂戴するのですが、私の個人的な考えといいますか思いとしては、やはりできればフルマラソンとしては6、7時間ぐらいの制限時間が望ましいのかと。そうすると、多少マラソンを始めて、練習を熱心に始められたぐらいの比較的初心者と言われる方も十分といいますか、頑張れ

ば走れない距離ではないと思っております。

多くの市民の皆さんがチャレンジをしたいと思っていただける、そういう身近であり、またそこに出て誇りに思えるという、そういった意味の大会になってほしいと思っています。

それから、別の種目という意味では、確かにハーフの部が欲しいというような声もあったり、特にハーフ前後、3キロの上がもうフルマラソンという形になっておりましたので、その中間ぐらいの10キロないしハーフという種目が欲しいという声もたくさんございますので、そういったところもあわせて検討していきたいと私自身は思っております。

- 埼玉新聞 追加で済みません。もし仮にですけれども、フルマラソンは7時間ですとか制限時間が延びた場合に、市長ご自身は走ってみたいというお考えはございますでしょうか。
- 市長 そうですね、6時間以上になった場合にはチャレンジしたいという思いはあります。
- 時事通信 よろしいでしょうか。
- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
先ほどの沿道の観客数に関連することなんですけど、もし経済波及効果等が出ているようでしたら教えてください。
- 事務局 スポーツイベント課です。
まだ経済波及効果は出てございません。調査中で、今後出次第ご報告させていただきます。
- 埼玉新聞 いつごろになりそうですか。
- 事務局 まず、主催5者で、週以降会議を持ちますので、そういったところで話し合われますので、いましばらくお待ちいただければありがたいです。
- 埼玉新聞 あともう一点なんですけど、エリート大会という意味で、今回のコースはかなりアップダウンが多かったり、折り返しが4カ所あるということで、そういうのもあって、トップ選手、特に国内の選手が、駅伝シーズンの真っ最中という理由もあるのですが、それとコースの難しさ等でちょっと回避したんじゃないかという見方もあるんですけど、今後例えばコースの見直し等も継続する場合は考えていらっしゃるのでしょうか。
- 市長 先ほどもお話をしたとおり、今回の大会のいろいろな反省を踏まえて、

いろいろな課題を整理したり、あるいはコースに対するいろいろなご評価もあったと思いますので、そういったことも含めて、今後また5者で対応を考えていくということになろうかと思えます。

○ 時事通信

よろしいでしょうか。

それでは、そのほかに質問がある方は質問してください。

その他：旭化成建材のデータ偽装問題について

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

昨日旭化成建材のくい打ち工事のデータで、さいたまの市有施設でも流用が独自調査で確認されたということで記者発表がありました。このことについての市長の受けとめをお願いします。

○ 市長

それでは、ご質問にお答えしたいと思います。

今回起こったくいの施工データの流用あるいは改ざんは、市民の安心安全の確保を根底から覆し、社会不安をあおる行為であり、事情がどうであろうとも決して許される行為ではないと考えております。今後同じことが起こらないように、国には再発防止対策を実施するよう大都市会議などでもしっかりと要望していきたいと考えております。

また、同時に市としては引き続き公共工事の品質確保の促進に関する法律に基づいて、より適正な工期並びに工事価格を設定し、適切な現場管理を行うために工事監理指導及び現場管理を十分に行って、今回のような事態を未然に防いでいきたいと考えております。

現時点では、民間については国や県から情報がございませんけれども、そういった調査については、いろいろな形でまた国の動向なども踏まえながら検討、対応していきたいと思っております。

○ 埼玉新聞

関連して引き続き質問なんですが、今回の3件についてはデータ流用があったけれども、安全性には問題ないということで市は判断しているということなんですが、今後こういった工事の不正によって、何か建物等に不都合等が起きた場合は、例えば損害賠償とか、そういった措置等を検討されているのかどうかお聞かせください。

○ 事務局

現状では外観、現地調査の結果ですとか、あとは施工の状況によって安全だという判断をしておるのですが、今のご質問については、将来不具合

が生じた場合、これは何かの原因があるわけで、その原因を突きとめまして対応していきたいと思っております。

○ 埼玉新聞 もう一点あります。旭化成建材以外にも不正を行っていたという例も出始めていまして、今後ほかの業者が行ったくい打ち工事の調査の必要性もあるのではないかとこの声が高まっていますが、この点について、市長としては市独自に調査を始めることなどについていかがお考えでしょうか。

○ 市 長 これも国、県の動向などを見ながら調査をしていきたいと思っております。

○ 埼玉新聞 そうしますと、いずれは調査を行う方向で考えてということで考えてよろしいんですか。

○ 市 長 そういう可能性も十分にあるということです。今のところ、状況をまだ私どももつかみ切れていないところもありますので、その辺を踏まえながらという形になると思います。

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

関連してなんですけれども、旭化成建材のくい工事の市有物件について全て調査を行ったということでの結果が出たんですけれども、その安全性の確認ができたということでの説明だったんですけれども、非常に専門的なご説明が多くて、市民に対してこういうわけで安全だという、その安全である根拠の説明みたいなものはちょっと十分ではないかなというふうに考えるんですけれども、中には教育施設の一部もあるということなので、そのあたりについて市民にいま一度、こういうわけだから安全ですという説明をするご予定ですかはございますか。

○ 事務局 今のご質問にございましたとおり、旭化成建材が施工にかかわった、さいたま市が管理している施設については、一通り調査は終わっています。

その中で、安全性についてですけれども、先ほどお答えしたとおり建築されてから10年経過している中で、現状に障害が生じていないということでございます。

それと、繰り返しになりますけれども、昨日もご説明しましたが、当時の施工の書類等を再度確認して、そのようなものから状況の判断になってしまいますけれども、総合的に見て、安全であるという判断を行ったということでございます。

- 埼玉新聞 もうちょっと市民にわかりやすく説明するご予定はありますかと、そういうことなんですけれども。
- 事務局 特に今の段階では、それ以上こちらの手持ちの資料全てで調査を行ったものでして、あと施工者側のデータ等も含めて、施工者側からの安全であるというような回答を求めるかということになっていくかと思えますけれども、これについての検討は、これからしていきたいと思っております。
- 埼玉新聞 市の広報ですとかホームページで、こういう調査をして、こういう結果が出ていますので安全ですという、そういうアナウンスはするご予定はないのでしょうか。
- 事務局 それは検討させていただきたいと思います。
- 時事通信 ほかにございませんか。

その他：西部環境センター職員に係る損害賠償請求事件の裁判について

- 朝日新聞 朝日新聞と申します。
さいたま地裁で18日に、さいたま市西部環境センター職員だった方が自殺された件について、パワハラだと認定する判決が出ましたけれども、この件につきまして市長の受けとめと、それと控訴などを含めて今後の対応についてどう考えていらっしゃるのか教えてください。
- 市長 まず、亡くなられた職員が、若くしてみずからの命を絶ったことは極めて痛ましいことであり、深くご冥福をお祈り申し上げたいと思います。
判決内容を精査した結果、控訴の手続を進めていきたいと考えております。控訴の提起については議会の議決が必要でありますので、来る定例会に追加議案として、審議をお願いするよう進めていきたいと考えております。
- 朝日新聞 関連してなんですけれども、控訴される理由について改めて教えてください。
- 市長 これまで市側として主張してきた内容が認められていない部分もあるということで、そういった部分について控訴をして、再度主張していきたいということでもあります。
詳細については、今後控訴審の中で明らかにしていきたいと思っております。

- 埼玉新聞 関連してなんですが、現段階で市としてはパワハラというものがあったという認識をしているのでしょうか、それともなかったということなんでしょうか。
- 市長 裁判の中でこれまで私たちはいろいろ主張しておりますので、再度それらについてまた主張して、控訴審の中で明らかにしていきたいと思っております。
- 埼玉新聞 それで、パワハラということあったかなかったか、そこが争いになったり、判断が分かれたりするところがあるかもしれないんですが、市としてはこういったパワハラ等を防ぐために、現状どういったことをやっているのか。もしくは今後、こういった争っているとはいえ、訴えが起こされた事件があったということを受けて、何か今後さらに対策等を講じる予定等ありましたら教えてください。
- 市長 従来からパワハラとか、そういうことについては職員の研修を通じて、しっかりと教育、研修をしてきたつもりでおります。
- 今後もその強化をしっかりとやって、こうした誤解されるようなことがないように取り組んでいくということが必要であると思っております。今後も職員それぞれにしっかりと認識をしてもらえるように、もちろんこの問題だけではありませんけれども、今いろいろ人権上で言われている問題が多々ございますので、そういったものについてはしっかりと職員一人ひとりが認識をしていただけるように、研修等については今後さらにしっかりとやっていきたいと思っております。
- 朝日新聞 今の件について関連してなんですけれども、これまで主張してきた内容が認められなかったということなんですけれども、これまでパワハラの実態はなく、休暇をとるよう進めていたなどと主張されていたと思うんですけれども、この認識に変わりはないということよろしいでしょうか。
- 市長 現状として、さいたま市としては主張してきた内容が認められていないと判断しておりますので、その中で控訴をさせていただくということでございます。
- 時事通信 ほかにいかがでしょう。

その他：大宮アルディージャの J2 リーグ優勝について

- 埼玉新聞 大宮アルディージャについてなんですけれども、改めまして市で祝賀会ですとか、そういうお祝いみたいな、そういうイベントですとか、何かご予約みたいのはあるんでしょうか。
- 市長 現状としては、本庁舎に1月の16日から12月の4日まで、優勝横断幕を掲出させていただいております。また、市長表敬も行う予定と聞いておりますので、その日程等についてはわかり次第お知らせをしたいと思っております。
また、大宮アルディージャと関連をしております旧大宮市の西区、大宮区では懸垂幕を掲出する予定、あるいは実施中と聞いております。現状としては、そういったことぐらいです。
- 埼玉新聞 市長の、改めまして選手ですとかチームにコメントを。
- 市長 まず、大宮アルディージャの選手、監督、クラブご関係の皆さん、2015シーズン J2 リーグ優勝、そして J1 リーグへの昇格決定おめでとうございます。J1 リーグへの1年での振り返り、そして年間42試合という大変長いシーズンを安定した戦いぶりで勝ち抜いて J2 リーグを制したことをホームタウンの市長として、大変うれしく思っております。また、誇らしく思っております。
今シーズンの大宮アルディージャは、第15節で首位に立ってから、その座を明け渡すことなく快進撃を見せてくれました。これまで続けてきたスタイルであります、ボールを動かしながら魅力的な攻撃と組織的で安定した守備によって、見る者を魅了するサッカーを展開してくれたと感じております。ファン、サポートだけでなく、多くの市民に感動をもたらし、地域に一体感を生み出してくれた大宮アルディージャに心から感謝をしたいと思います。
来シーズンの J1 リーグにおきましても、その実力を遺憾なく発揮してサッカーのまち、さいたまに大きな夢と希望、そして感動を与えることを期待しております。
- 時事通信 ほかにはいかがでしょうか。

その他：パリで起きた同時多発テロの影響について

- 朝日新聞 先日パリでおきました同時多発テロに関連してお伺いしたいのですけれども、学校現場への影響というのは、教育委員会の管轄になると思うのですが、職員の方が例えば出張ですとか研修といったことについて、何か影響を受けている部分がありましたら教えてください。
- 市長 今回のテロですか。
- 朝日新聞 今のところなければ、それでも大丈夫ですが。
- 市長 今のところないと聞いております。
- 時事通信 ほかにいかがでしょうか。

その他：別所沼公園に設置されている「浦和うなこちゃん」の石像が持ち去られたことについて

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。
昨日我々のほうもわかったのですけれども、別所沼公園に設置されているうなこちゃん像が持ち去られたようで、なくなってしまったということがあったというのを把握しました。
それで、浦和署のほうに被害届等を出していらっしゃるということなんですが、市の観光親善大使、観光大使にもなっているキャラクターがこういった形で被害に遭ったということについて、市長はどのように受けとめていらっしゃいますでしょうか。
- 市長 うなぎのうなこちゃんについては別所沼と、それから駅前と、2カ所像を設置しております。市民からも、それから市民以外の方からも大変人気が高く、若い高校生たちは写メで撮りに来たり、いろいろ観光大使として大変大きな役割を果たしてくれている像であります。
また、やなせたかしさんがつくって下さいました大変すばらしいキャラクターでもありますので、私たちとしても、持っていかれたというのは大変残念な思いでありますし、一日も早くお返しをいただくようお願いをしたいと思っております。
また、多くの市民の皆さんが、一日も早くうなこちゃん像の戻ってくるのを待っていると思いますので、早く返していただければと思っております。

す。

- 埼玉新聞 例えどこに行ってしまったのか最終的にわからないままになってしまった場合なんですけど、こちらの別所沼公園にあった像というのは、何らかの形で復活させる予定なのか、それができるのかどうかということを含めてちょっと教えていただきたいんですが。
- 市長 現時点で、まだその先のことについては細かく検討しておりませんので、今後ということになるとは思います。まずは基本的にはやはり返していただくということが一番重要だと思っておりますので、一日も早くうなこちゃん像がもとの位置に戻るようお願いしたいと、お返ししてほしいと思います。
- 時事通信 ほかよろしいでしょうか。
それでは、どうもありがとうございました。
以上をもちまして、本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。
次回の開催は、12月9日水曜日、1時半からを予定しておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

午後2時21分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。